

＼ 教えて！2025年問題 ／



「2025年問題」って言葉を最近よく耳にするけど、どういう意味なの？

2025年以降団塊の世代が75歳を迎え、日本人の約5人に1人が75歳以上という超高齢社会が到来するんだ。
これまで国を支えてきた団塊の世代が、医療や介護、福祉サービスを受ける側に回る一方で、支える側の生産年齢人口(15~64歳)は減少していった。このため、医療や介護などの負担と給付の割合が大きく変わり、国や自治体の社会保障財政の運営に影響が出るとみられているよ。





私の住む宜野湾市も高齢化していくの？

まずは、65歳以上の人口推計を市全体と中学校圏域（日常生活圏域）で見ましょう。



	平成 29 年度	平成 37 年度 (2025 年)	増加人数
宜野湾市全体	17,289 人	23,123 人	5,834 人
普天間地区	4,006 人	4,854 人	848 人
真志喜地区	4,644 人	6,285 人	1,641 人
嘉数地区	3,913 人	5,469 人	1,556 人
宜野湾地区	4,726 人	6,515 人	1,789 人

次に高齢化率（全人口に占める 65 歳以上の割合）の推計を見てみよう。



	平成 28 年度	平成 32 年度	平成 37 年度 (2025 年)
宜野湾市	17.3%	19.7%	21.4%
沖縄県	20.5%	22.9%	25.0%
全 国	-	28.9%	30.0%

沖縄県、全国と同様に 65 歳以上の高齢者が増えていくことがわかるね。





今後も高齢者が増えることでどういったことが起きるの？

介護認定を受けた要支援者や要介護者、認知症高齢者、一人暮らし高齢者数が増えることが推計されているの。



	平成 29 年度	平成 37 年度 (2025 年)	増加人数
要支援・要介護者数	2,769 人	3,904 人	1,135 人
1 人暮らし世帯数	5,409 世帯	8,752 世帯	3,343 世帯

	平成 27 年度	平成 32 年度	平成 37 年度 (2025 年)
認知症の有病率 (65 歳以上に占める割合)	15.6%	17.4%	19.7%
認知症高齢者及び 認知機能に低下の見られる 高齢者	2,529 人	3,392 人	4,203 人

今後、介護や支援を必要とする高齢者が増えていく中、その支え手となる介護人材やサービスを提供する事業所の不足が懸念されているんだ。



それじゃあ2025年を迎えるにあたってどうしたらいいの？



おそらく多くの人が、いくつになっても、住み慣れた場所で、好きなことをしながら元気に生活し続けたいって思うよね？

一人暮らしになっても、認知症になっても、要介護状態になっても、いつまでも住み慣れた地域で安心して生活できるように、介護と医療の連携や元気な高齢者が社会参加できるような居場所づくり、地域や関係機関の見守り・サポート体制の仕組みづくりが必要なんだ。



この仕組みを「地域包括ケアシステム」と呼んでいるのよ。市町村は、2025年に向けて「地域包括ケアシステム」を構築するために、いろいろな取り組みを行っているみたい。

その基礎となっているのが、

「宜野湾市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」なの。



もちろん、介護保険の適切な運営を目的とする計画も大事だけど、普段から私達一人一人が自分の健康管理・健康づくりに取り組んだり（自助）、お互いが支え合い、助け合えるような関係（互助）を築いていくことで、みんなが住みやすく温かいまちになるんだよ。



＼ みんなで目指そう ／



「チュイシーの心で支えあう 高齢者が笑顔で住み続けるまち ぎのわん」